21世紀の科学を育てる理科教育

令和8年10月　第303号・秋号

理振協会会報

■ 編集：(公社) 日本理科教育振興協会 広報委員会
■ 制作：株式会社 太洋堂

公益社団法人　日本理科教育振興協会
〒101-0052　東京都千代田区神田小川町3-28
TEL: 03-3294-0715　FAX: 03-3294-0716
URL: https://www.japse.or.jp

CONTENTS

■ 令和９年度 概算要求予算について（p1）
■ 令和８年度 理科教育設備整備予算の残予算について（p2）
　■ 令和９年度 理科教育設備整備予算増に向けた活動（p2）
■ 理科研究大会の報告（p3）
■ 令和８年度 小・中・高等学校 理科充足調査報告（p4 ～ 6）
　■ 令和８年度 理科観察実験指導力向上セミナー　実施報告（p6）
　■ 令和８年度 震災復興教育支援事業（p7）
　■ 令和８年度 こども霞が関見学デーに出展いたしました（p7）
　■ 令和８年度 毒物劇物取扱責任者資格試験　受験準備講習会を実施しました（p7）



毎年、夏季に集中して実施している、小教師指導力向上セミナー(東京2会場2 回、愛知1会場2回)、毒物劇物取扱資格試験講習会を予定通りに7・8月度に実施できました。

併せて、理科教育団体の全国大会として、全国中学校理科教育研究会奈良大会、日本理化学協会新潟大会、(一社)日本理科教育学会鹿児島大会が開催され、理振協会として全面的な支援をさせて頂き、参加いたしました。

毎年、実施している小中高等学校の理科観察実験機器保有状況調査ですが、本年も実施させていただき、会報に結果を掲載させていただきました。依然として小中高等学校の理科観察実験機器は不足しています。

理科予算増額活動に注力し、秋以降の活動を推進していきます。

令和9年度 概算要求予算について

理科教育設備整備費等補助金については、前年度よりも増額要求をいただきました。この予算が減額されないように各部署に働きかけを行います

【　】令和8年度予算

理科教育設備整備費等補助金（理振予算）……**17.16億円【17.16億円】**

理科教育における観察実験支援事業……**1.9億円【1.9億円】**

・小中学校における理科の観察・実験を支援する補助員を配置
（観察実験アシスタント＝Preparation Assistant for Scientific Experiments and Observations）
……補助率1/3

関連予算

スーパーサイエンスハイスクール支援事業……**24億円【23億円】**

令和8年度理科教育設備整備予算の残予算について

本年度の予算については、6/16付けで交付決定が通知されました。
これで本年の予算はすべて消化されるものと思われます。

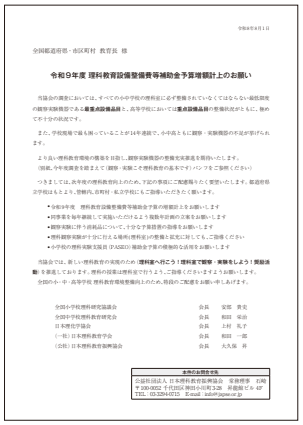
令和９年度　理科教育設備整備予算増に向けた活動

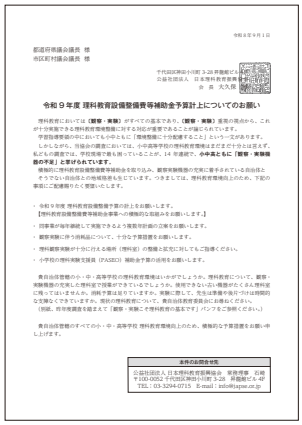
1 文部科学省及び地方自治体教育長＆議会議長への要望活動

要望内容…… 令和9年度の理科教育設備整備費等補助金の増額
消耗品費の十分な確保
理科実験支援員の確保
観察・実験のできる場所の確保

８月下旬に文部科学省各部署、地方自治体教育委員会教育長、及び議会議長に予算啓発パンフレットともに要望書をDMいたしました。

特に議会議長には、管轄自治体内小中高等学校の理科室整備状況について、観察実験機器や消耗品の整備、支援員の配置等、十分な理科教育環境において理科授業ができているか否か、教育委員会に確認いただけるようお願いしました。


教委文書


議長文書

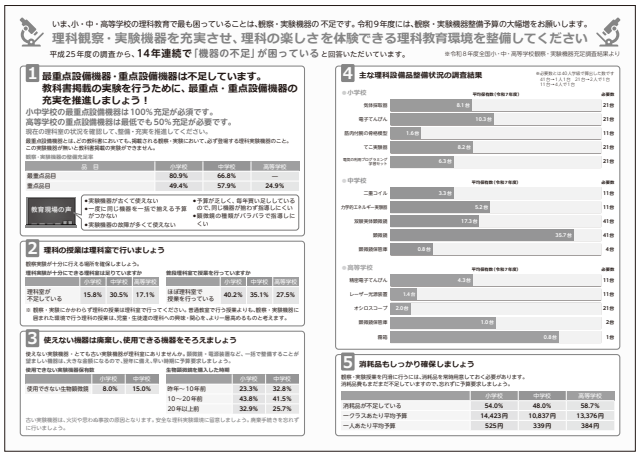
※その後､議会事務局からDMに関しての問い合わせが続々と来ています。議員回覧いただける自治体が多数出てきています。

2 文教議員への要望書提出

８月度、普段から理振協会の活動に支援を頂いている衆議、参議院の国会議員20名に理科教育環境整備向上の要望書を提出いたしました。

※次年度予算増額計上パンフ完成しました。今年度調査結果を踏まえて、最新の小中高等学校の理科教育の現状を提示しています。理振協会ホームページからダウンロードできます。
https://www.japse.or.jp/publication/pamphlet/





※パンフレット

積極的に国庫補助を活用して、理科教育設備整備事業を推進していただけるように都道府県・市区町村自治体・学校法人にPRしましょう。

理科研究大会の報告

第 73 回全国中学校理科教育研究会奈良大会を終えて

全国中学校理科教育研究会 会長　**和田　栄治**



第73回全国中学校理科教育研究会奈良大会は、令和8年8月9 日～ 11日の3日間、なら１００年会館、奈良県立大学等を会場として開催いたしました。「自然の事物・現象にじっくりと深く関わり、科学的に探究する資質・能力を育てる理科教育」を大会主題として、全国から約500名の参加をいただきました。

文部科学省初等中等教育局教育課程課の真井克子教科調査官をお招きし、「科学的に探究する資質・能力を育てる理科教育」をテーマに、理科ワーキンググループのとりまとめの状況や理科教育の課題を踏まえ、子供たちが理科好きになるための授業づくりについて、具体的な事例を交えて分かりやすくご説明いただきました。

分科会では、教育課程、学習評価、観察・実験、環境教育の4つに分かれ、研究発表を基に、これからの理科教育が目指すべき方向性や日常の授業改善に向けた議論を行い、研鑽を深めました。



また、記念講演ではDMG森精機株式会社の森雅彦社長より、「DMG森精機のMachining Transformation戦略 ～よく学び、よく働く～」をテーマに、世界的な工作機械メーカーとしての先進的な取組みについてお話しいただきました。

結びに、大会開催に関しまして、毎回多大なるご支援とご協力をいただいております日本理科教育振興協会をはじめ、関係諸団体の皆様に会員を代表しまして深く感謝申し上げます。

令和 8 年度全国理科教育大会・第 97 回日本理化学協会総会新潟大会を終えて

日本理化学協会 会長　**上村　礼子**



令和8年度全国理科教育大会・第97回日本理化学協会総会新潟大会は8月4日（火）～6日（木）の3日間、三条市立大学を会場に開催いたしました。大会主題に『探究心を育む理科教育 ―地域産業との連携で探る、新たな価値の創造に向けて―』掲げ、全国から　300名を超える関係者が参加し、次期学習指導要領に向けての議論を踏まえ、これからの理科教育の進むべき方向について協議し研鑽を深めました。

大会において、文部科学省初等中等教育局教科調査官小林一人様による「科学的に探究する資質・能力を育てる理科教育」の御講話と、三条市立大学学長アハメド・シャハリアル様による「探究心が拓く未来　―理科教育×次世代を牽引する地域産業の融合による価値創造 ―」の記念講演を頂きました。さらに、「探究心を育む理科教育」をテーマとした7つの研究協議会、そして、多様な分野にわたる実験事例報告や研究発表により、生徒が主体的に取り組む観察・実験の授業実践や質の高い探究活動などに関する情報・知見も含め、理科教育のさらなる質の向上を図る議論が展開され、意義深い大会になりました。



結びに、当日は日本理科教育振興協会会長・大久保昇様よりご挨拶を頂き御礼申し上げます。本研究大会には、毎年、日本理科教育振興協会より多大なる御支援と御協力をいただいておりますこと、会員を代表して深く感謝申し上げます。

日本理科教育学会第 76 回全国大会（鹿児島大会）を終えて

一般社団法人日本理科教育学会　会長　**和田　一郎**



令和8年度日本理科教育学会全国大会（鹿児島大会）が、8月22日（土）・23日（日）の2日間、鹿児島大学において、土田理実行委員長のもと開催されました。参加者は795名、一般研究発表392件、課題研究発表96件、児童・生徒によるポスター発表30件を数え、各会場では活発な研究発表と意見交換が行われました。記念講演では、鹿児島大学水産学部の大富潤先生から「深海性魚介類の生物学と未利用資源の有効利用」と題してご講演いただきました。普段目にする機会の少ない深海魚の生態や、深海性魚介類をめぐる研究のお話は大変興味深く、自然への好奇心を改めて喚起される機会となりました。また，児童･生徒によるポスター発表や各種委員会企画等を通して、世代や立場を越えた交流も深まりました。熊本地震の影響が懸念される中、準備から当日の運営までご尽力いただいた関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。



本大会の開催に際し、公益社団法人日本理科教育振興協会の皆様には、格別かつ多大なるご支援を賜りました。皆様からの温かいご支援が、本大会の充実と円滑な運営を力強く支える大きな礎となりました。改めまして衷心より厚く御礼申し上げます。

2026小中高等学校 理科充足調査報告

現行の学習指導要領への対応については、小中高等学校ともに、観察実験機器の整備について、特に、最重点設備品目・重点設備品目の整備が不足しており、整備充実が急務であります。

理科観察実験を行う場所として、夏季の空調に関する不備が目立ちました。快適な理科室環境に向けての活動も必要であることを感じています。依然として、小中高等学校の理科授業では、普段の授業で困っていることに関しては、観察実験機器・消耗品予算・支援員等の不足が指摘できます。

この調査結果を、次年度予算増額計上のためのパンフレットに反映させて、全国都道府県、市区町村に働きかけを行い、理科室の教育環境整備を推進いたします。

1. 調査学校数

調査対象	回答校数	昨年回答校数	増減
小学校	140校	161校	△21校
中学校	155校	133校	+22校
高等学校	216校	314校	△98校
	（内訳:全日制普通科153校/実業系37校/　定時制12校/通信制1校/特別支援13校）		

2. 国庫補助予算（1校当たりの予算額）…予算の数値は、予算のあった学校での算出

調査対象　　（　）昨年度	国庫補助予算平均	昨年平均	増減
小学校【予算有46校】　34.1%（35.3%）	19.9万円	19.6万円	+0.3万円
中学校【予算有66校】　44.6%（45.2%）	28.5万円	31.4万円	△2.9万円
高等学校【予算有49校】37.4%（36.9%）	38.7万円	39.6万円	△0.9万円

3. 国庫補助以外予算（1校当たりの予算額）・・・平均は予算のあった学校での数値

調査対象　　（　）昨年度	国庫補助以外予算平均	昨年平均	増減
小学校【予算有45校】　34.1%（38.1%）	19.7万円	17.2万円	+2.5万円
中学校【予算有62校】　42.5%（33.3%）	18.5万円	17.9万円	+0.6万円
高等学校【予算有45校】36.0%（31.2%）	25.9万円	35.5万円	△9.6万円

4. 消耗品予算

一クラス当たり／児童・生徒一人当たりの金額

	今年度	昨年度	増減
小学校	14,423円／525円	12,527円／454円	+1,896円／+71円
中学校	10,837円／339円	13,159円／423円	△2,322円／△84円
高等学校	13,376円／384円	13,919円／392円	△543円／△8円

予算状況

	足りている（一クラス／一人当たりの予算）	足りていない（一クラス／一人当たりの予算）
小学校	46.0%（13,033円/476円）	54.0%（16,475円/591円）
中学校	52.0%（11,409円/361円）	48.0%（10,791円/333円）
高等学校	41.3%（15,623円/460円）	58.7%（12,015円/339円）

5. 予算配当のない学校

	国庫＋国庫外のない学校　　（　）昨年度	国庫＋国庫外＋消耗品費のない学校　（　）昨年度
小学校　（回答数:135）	60校/44.4%（40.5%）	5校/3.8%（5.7%）
中学校　（回答数:149）	46校/32.9%（41.1%）	4校/2.7%（7.0%）
高等学校（回答数:122）	58校/47.5%（49.0%）	12校/9.8%（5.3%）

6. 新学習指導要領への対応について

○最重点設備品（小・中）、重点設備品（高校）については理解されていますか

	知っている	正確にはわからない	知らない
小学校　（回答数:139）	67.6%	23.7%	8.6%
中学校　（回答数:154）	53.9%	36.4%	9.7%
高等学校（回答数:153）	75.2%	—	24.8%

○重点設備品の整備状況

	十分整備できている	不足している（50%以上保有）	かなり不足している（50%未満）	不明
小学校（回答数:139）	28.8%	48.2%	10.8%	12.2%
中学校（回答数:154）	14.9%	48.1%	22.1%	14.9%
高等学校（回答数:153）	8.5%	26.1%	45.8%	19.6%

7. 新しい理科教育設備整備等補助金台帳と設備台帳について

○変更を知っているか　＜高等学校のみ＞

	知っている	知らない
高等学校（回答数:153校）	93校（60.7%）	60校（39.3%）

8. 廃棄状況

○廃棄をしているか

	廃棄している	廃棄していない
小学校　（回答数:140）	119校（85.0%）	21校（15.0%）
中学校　（回答数:153）	111校（72.5%）	42校（27.5%）
高等学校（回答数:153）	98校（64.1%）	55校（35.9%）

○文部科学省の廃棄基準を知っていますか

	知っている	知らない
小学校　（回答数:140）	96校（68.5%）	44校（31.5%）
中学校　（回答数:154）	85校（55.2%）	69校（44.8%）
高等学校（回答数:153）	76校（49.7%）	77校（50.3%）

9. 重点品目状況

◆小学校

○顕微鏡保有状況　（　）昨年

	使用不可能割合	古い顕微鏡の割合（20年以上前）
小学校	8.0%　（8.1%）	32.9%（36.9%）
中学校	15.0%（12.6%）	25.7%（24.1%）

○電子天秤保有状況　（　）昨年

	使用不可能割合	古い電子天秤の割合（20年以上前）
小学校	4.9%（-）	13.8%（-）

○電源装置保有状況　（　）昨年

	使用不可能割合	古い電源装置の割合（20年以上前）
中学校	12.6%（13.2%）	20.9%（27.4%）

10. 理科室の施設設備について

【理科室の施設設備の支障について　実験台・水回り・電気・ガス・空調】

	支障がある	支障はない
小学校　（回答数:138）	44校（31.9%）	94校（68.1%）
中学校　（回答数:154）	57校（37.0%）	97校（63.0%）
高等学校（回答数:152）	90校（59.2%）	62校（40.8%）

【理科室の支障がある箇所】　複数回答有

	実験台	水回り	電気	ガス	空調	その他
小学校	9校（20.4%）	15校（34.1%）	5校（11.4%）	3校（ 6.8%）	18校（40.9%）	2校（4.5%）
中学校	13校（23.2%）	26校（46.4%）	6校（10.7%）	8校（14.3%）	24校（42.9%）	5校（8.9%）
高等学校	24校（25.3%）	34校（35.8%）	17校（17.9%）	12校（12.6%）	56校（58.9%）	1校（0.1%）

【理科室観察実験機器の収納について】

	十分に置き場所がある	置き場所が不足している	その他
小学校　（回答数:138）	95校（68.8%）	41校（29.7%）	2校（1.4%）
中学校　（回答数:153）	105校（68.6%）	44校（28.8%）	4校（2.6%）
高等学校（回答数:151）	98校（64.9%）	47校（31.1%）	6校（4.0%）

11. R7年度最も整備充実させた実験機器

【小学校】購入品目	購入した学校数	購入した台数	1校あたりの平均購入台数
①顕微鏡（生物・双眼・デジタル・提示用）	17校	86台	5.1台
②気体検知管関係（デジタル気体測定器・酸素濃度計・気体採取管・検知管他）	8校	44台	5.5台
③加熱機器 IHコンロ 湯せん器等	6校	40台	6.7台

【中学校】購入品目	購入した学校数	購入した台数	1校あたりの平均購入台数
①電源装置 電流・電圧計等電気関係機器	23校	100台	4.4台
②顕微鏡（生物・双眼・デジタル・提示用）	17校	82台	4.8台
③電子てんびん	6校	38台	6.3台

【高等学校】購入品目	購入した学校数	購入した台数	1校あたりの平均購入台数
①顕微鏡（生物・双眼・デジタル・偏光）	22校	182台	8.3台
②電子てんびん、精密てんびん等	10校	52台	5.2台
③純水製造装置	4校	5台	1.2台

12. 理科室環境について

【理科室での授業の実施状況】

	ほぼ毎回 80%以上	半分程度 50%程度	30%以下	ほとんど理科室で 授業をしない
小学校　（回答数:139）	56校（40.3%）	71校（51.1%）	12校（ 8.6%）	0校
中学校　（回答数:154）	54校（35.1%）	67校（43.5%）	32校（20.8%）	1校（ 0.6%）
高等学校（回答数:153）	42校（27.5%）	22校（14.4%）	64校（41.8%）	25校（16.3%）

【理科室の数について】

○授業時数増で、理科実験授業を行うのに理科室は足りていますか　　（　）昨年

	足りている	不足している	不足率
小学校　（回答数:139）	117校	22校	15.8%（16.3%）
中学校　（回答数:154）	107校	47校	30.5%（30.3%）
高等学校（回答数:146）	121校	25校	17.1%（19.6%）

13. 普段の理科観察実験授業で困っていること

複数回答有

	小学校	中学校	高等学校
回答校数	129校	142校	144校
観察・実験機器不足	37	49	49
消耗品費予算不足	41	30	34
支援員不在	38	28	19
理科室が不足	2	13	19
機器のメンテ費用が不足	15	31	36
時間の余裕がない	18	12	45
その他の内容	•準備や片付けに時間的な余裕がない……6校 •理科室にエアコンがない……3校 •理振で低額の機器・消耗品を購入できるようにしてほしい……1校	•準備や片付けに時間的な余裕がない……5校 •理科教員が不足していて授業担当の負担が大きい……3校	•理科室にエアコンがない……7校 •時間が足りない……3校 •教える内容が多くて実験ができていない……1校

14. 充足率〈金額ベース〉

	小学校	中学校	高等学校
最重点設備品	80.9%（78.7%）	66.8%（65.1%）	—
重点設備品	49.4%（45.6%）	57.9%（53.6%）	24.9%（22.1%）

令和８年度 理科観察実験指導力向上セミナー　実施報告

◇国立天文台



開 催 日:7月28日（火）

参加人数:21名

講習テーマ:我が国の最高施設ならではの研修と指導

実際に望遠鏡や星座早見盤を自作してその仕組みを理解し、星座の見え方を学びました。今回より、自作望遠鏡が少し精度の高い望遠鏡に変更になり、精彩に見ることができるようになりました。また、天文に関しては我が国の最高レベルの施設で、4D2Uドームシアターでは宇宙旅行を堪能できました。

◇未来わくわく館



開　催　日:8月17日(月)
参加人数:20名
講習テーマ:安心安全な理科実験指導
実際の授業で、先生が陥りそうな操作や手順について具体的な事例を紹介し、安全で楽しく、児童たちに理科を体験してもらうことのできる、明日からすぐに役立つ実践的な指導をいただきました。

◇国立大学法人愛知教育大学





【小学校教諭対象】

開　催　日:8月19日(水)
参加人数:18名

【中学校教諭対象】

開　催　日:8月20日(木)
参加人数:28名
講習テーマ:愛知教育大・・・各単元の完全マスター
受講された先生方には、理科教育の基本を改めて研修していただきました。昨年に続き、受講対象を小学校教諭と中学校教諭と分けて2日間で、実施しました。小学校教諭対象は、事故を防いで安全に留意した児童の興味を高める指導についてを学び、中学校教諭に対しては、理科各科の専門性を追求するもう一つ追求した観察実験の指導をいただきました。
教育専門の施設設備が充実した中で、ご指導いただいた先生方の事前準備も素晴らしく、受講された方は皆、熱心に理科実験に取り組まれていました。

令和８年度震災復興教育支援事業

本年は、東日本大震災の被災地、福島県の原発避難地区及び能登半島地震被災地区での小学校を対象に理科実験支援事業を実施いたします。被災地の児童たちに、喜びや感動を与える理科実験授業に努めます。

実施期間　9月～12月
実施地区　七尾市 5校 13クラス、福島県 南相馬市 4校 5クラス、浪江町 1校 4クラス
3自治体10校　児童数 418名

令和８年度 こども霞が関見学デーに出展いたしました



毎年、文部科学省生涯学習局が中心となり、各省庁が参加して文部科学省をはじめとして各省庁と関係のある団体が教育のあらゆる分野について、子供を対象とし展示・演示を開催しています。
本年は7月29日(水)・30日(木)文部科学省講堂にて開催されました。理振協会は前回に続き、理科教育の分野で触れて、体験して楽しい実験機器を展示いたしました。多くの子供たちに理科実験機器に触れて楽しんでもらいました。
2日間の来場者は、6,676名となり、大盛況でした。

令和８年度 毒物劇物取扱責任者資格試験 受験準備講習会を実施いたしました



御茶ノ水の連合会館会議室にて、7月21日(火)～7月24日(金)の4日間で開催いたしました。
20名のご参加をいただきました。夏の暑い中でも熱心に受講いただき、大半の方が 8/5に行われた千葉県での試験を受験されました。
また、他の都道府県での試験について、これから受験される方のご健闘を祈念いたします。

探求を加速させるデータロガー
4台同時接続できる

りかなび



〔使用例〕

ScienceCube

サイエンスキューブ（ワイヤレスセンサ）

●スマホやタブレットに無線で接続

Bluetooth接続が可能なワイヤレスセンサです。

●本体のディスプレイに測定値表示

PCとの未接続状態でも測定値を表示するディスプレイを搭載しています。 ※スマートカーは除く

Windows ○ ChromeOS ○ Android ○ iOS ○

〔共通仕様〕
- 通信方式：Bluetooth
- 電源：充電池（USB充電方式）
- 対応OS：Windows 7以降　iOS 11.0以降
  Android 4.0以降
  ChromeOS 最新版推奨
- 付属：USB ケーブル（Type-C）

コード	品 名	価 格
1-109-0635	温度計	¥23,800 (¥26,180)
1-109-0645	電圧計	¥26,000 (¥28,600)
1-109-0646	電流計	¥26,000 (¥28,600)
1-109-0651	検流計	¥24,000 (¥26,400)
1-109-0647	圧力計	¥29,000 (¥31,900)
1-109-0637	力・加速度センサ	¥33,000 (¥36,300)
1-109-0638	距離センサ	¥38,000 (¥41,800)
1-109-0652	スマートカー	¥68,000 (¥74,800)
1-109-0656	フォトゲート	¥29,000 (¥31,900)
1-109-0649	磁力計	¥29,000 (¥31,900)
1-109-0659	音圧計	¥35,000 (¥38,500)

コード	品 名	価 格
1-109-0658	熱電対温度計	¥36,000 (¥39,600)
1-116-0456	照度計	¥29,000 (¥31,900)
1-109-0667	放射線測定器	¥73,000 (¥80,300)
1-109-0668	静電容量計	¥34,000 (¥37,400)
1-109-0636	pH計	¥34,000 (¥37,400)
1-109-0648	導電率計	¥41,000 (¥45,100)
1-109-0653	CO_2濃度計	¥65,000 (¥71,500)
1-109-0654	酸素濃度計	¥78,000 (¥85,800)
1-109-0669	比色・濁度計	¥42,000 (¥46,200)
1-109-0657	心電計	¥38,000 (¥41,800)
1-109-0666	気象観測器	¥63,000 (¥69,300)

https://school.rikanavi.com/ りかなび 検索

発見、ときめき！ 理科学機器のケニスです。

ケニス株式会社

https://www.kenis.co.jp

●本　　社　大阪市北区天満2丁目7-28　Tel.(06)4800-0721
●東京支社　東京都江東区佐賀1丁目2 - 8　Tel.(03)3630-8121
●福岡支店　福岡市博多区東比恵３丁目16-3　Tel.(092)473-6600
●広島支店　Tel.(082)537-2511　●仙台営業所　Tel.(022)302-5460
●札幌営業所　Tel.(011)746-1061

理科教育を支援する
公益社団法人 日本理科教育振興協会
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-28 昇龍館ビル
TEL 03-3294-0715 FAX 03-3294-0716 ホームページ:https://www.japse.or.jp